



鹿児島県内経済情勢報告

令和4年4月

財務省九州財務局
鹿児島財務事務所

(問い合わせ先)

九州財務局 鹿児島財務事務所 財務課

TEL 099-226-6155

ホームページアドレス

<https://lfb.mof.go.jp/kyusyu/kagoshima/>

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある」

項目	前回（4年1月判断）	今回（4年4月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	→

（注）4年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、感染症の影響がみられるものの、百貨店・スーパー販売や宿泊・観光面で客足が戻ってきており、持ち直しつつある。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（4年1月判断）	今回（4年4月判断）	前回比較
----	------------	------------	------

個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	→
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	足踏みの状況にある	↘
雇用情勢	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	↗

設備投資	3年度は増加見込み	3年度は減少見込み	↘
企業収益	3年度は増益見込み	3年度は増益見込み	→
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	↘

【先行き】

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動が正常化に向かうなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、感染症の影響やウクライナ情勢等による不透明感がみられるなかで、原材料価格の上昇や金融資本市場の変動、供給面での制約等による下振れリスクに十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある」

「百貨店・スーパー販売」は、衣料品が弱い動きとなっているものの、食料品が堅調で前年を上回っている。「家電大型専門店販売」、「ドラッグストア販売」及び「コンビニエンスストア販売」は、引き続き堅調である。「新車販売」は、供給面での制約の影響により、前年を下回っている。「宿泊者数」及び「主要観光施設入場者数」は、感染症の影響により弱い動きがみられるものの、足下では助成事業の効果がみられる。

(主なヒアリング結果)

- まん延防止等重点措置解除後は、県内の感染者数は高止まりしているものの、適用時と比較すると客足は戻りつつある。(百貨店・スーパー)
- 衣料品は、卒業式・入学式の人数制限もあって例年より動きが弱い。(百貨店・スーパー)
- 引き続き高単価な肉や魚の動きが良い。(百貨店・スーパー)
- 前年の巣ごもり需要による反動減があるものの、買い替え需要が継続しているほか、高機能製品などの高単価商品に動きがみられる。(家電大型専門店)
- マスクなどの衛生用品に加え、食料品が引き続き堅調である。(ドラッグストア)
- まん延防止等重点措置解除後は、来店客数が少しずつ持ち直している。中食需要やお酒関係は順調に推移している。(コンビニエンスストア)
- 半導体不足や物流の混乱等の供給制約に伴う納期の長期化から、販売台数につながらない状況が続いている。ただし、受注は堅調に推移している。(自動車販売店)
- まん延防止等重点措置適用により、団体客を中心にキャンセルが相次いだ。解除後は、徐々に客足が増加している。(県内宿泊施設)
- 行動制限緩和や県の助成事業の効果もあり、予約数は個人客を中心に前年を上回るなど回復基調にある。(旅行代理店)

■ 生産活動 「足踏みの状況にある」

主な業種をみると、「電子部品・デバイス工業」は、5Gや半導体関連市場の需要が堅調であるものの、供給面での制約の影響により足踏みの状況にある。「食料品工業」は、感染症やサツマイモ基腐病の影響により、外食向けや焼酎などで弱い動きとなっている。

- 5Gや半導体関連市場の需要増により各種コンデンサやセラミックパッケージ等の需要が前年より増加しているものの、足下では半導体不足により部材調達が進んでおらず、一部で受注減が発生している。(電子部品・デバイス工業)
- 感染症の流行により、外食向け畜産製品を中心に動きが鈍くなっている。(食料品工業)
- 感染症の影響で業務用焼酎の売上が減少しているなか、サツマイモ基腐病の影響で、生産水準は計画を大きく下回っている。(食料品工業)
- まん延防止等重点措置解除後、飲食店の需要回復を期待するも期待どおり回復しておらず、生産水準は前年を下回っており、生産余力を残した状況にある。(食料品工業)

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

有効求人倍率は、緩やかに上昇している。新規求人数は、感染症の影響を受けていた業種などで増加しており、前年を上回っている。

- 4年2月の有効求人倍率(季節調整値)は1.34倍と、70か月連続で1倍台を維持。新規求人数は、感染症の影響を受けていた業種(宿泊・飲食サービス業)や従来から人手不足である業種(医療・福祉業、建設業)で前年を上回っている。(労働局)
- 人手不足が続いているなか、他の企業で求人が出てきており応募状況は以前より厳しい。(医療・福祉業)
- 感染症の影響でパート等の人員調整を行った影響からか、人員が必要な時に募集しても充足せず、店舗を休業することもある。(飲食サービス業)

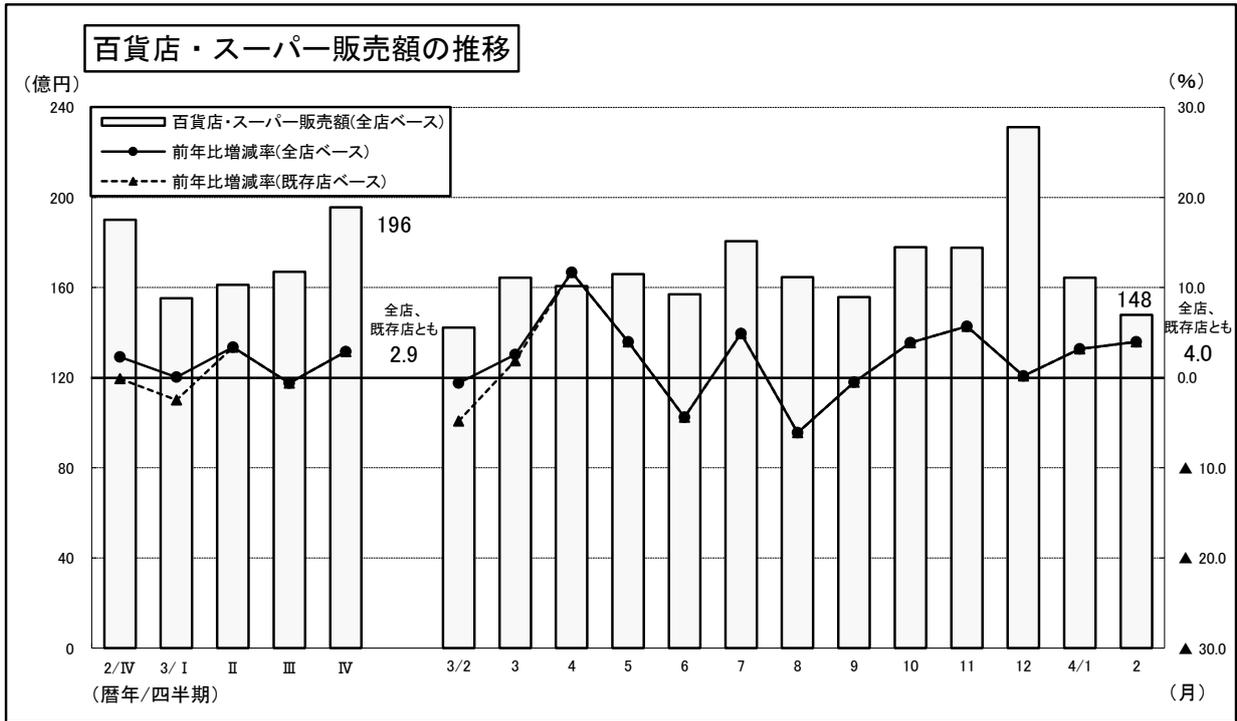
- 設備投資 「3年度は減少見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年1-3月期
 - 製造業では減少見込み、非製造業では増加見込みとなっている。
- 企業収益 「3年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年1-3月期
 - 製造業、非製造業とも増益見込みとなっている。
- 企業の景況感 「現状判断は『下降』超」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年1-3月期
 - 4年1-3月期の景況判断BSIをみると、全産業で「下降」超となっている。先行きをみると、4年4-6月期は「下降」超の見通しとなっている。
- 住宅建設 「前年を下回っている」
 - 新設住宅着工戸数(3年12月-4年2月)は、前年を下回っている。
- 公共事業
 - 公共工事前払金保証統計の請負金額(3年度末累計)は、前年度を上回っている。
- 倒産
 - 企業倒産(4年1-3月期)は、件数は前年を下回っており、負債金額は前年を上回っている。
- 農業(畜産物)
 - 和牛のと畜頭数は、12、1月は前年を上回り、2月は前年を下回っている。和牛の枝肉卸売価格は、12月は前年を上回り、1、2月は前年を下回っている。
 - 豚のと畜頭数は、12月は前年を下回り、1、2月は前年を上回っている。豚の枝肉卸売価格は、12月から2月まで前年を上回っている。
 - ブロイラーの処理羽数は、12月から2月まで前年を上回っている。もも肉の卸売価格は、12月から2月まで前年を下回っている。

【参 考 資 料】

1. 個人消費	参-1
2. 生産活動	参-4
3. 雇用情勢	参-6
4. 設備投資	参-7
5. 企業収益	参-8
6. 企業の景況感	参-9
7. 住宅建設	参-10
8. 公共事業	参-11
9. 倒産	参-12
10. 農業(畜産物)	参-13

1. 個人消費

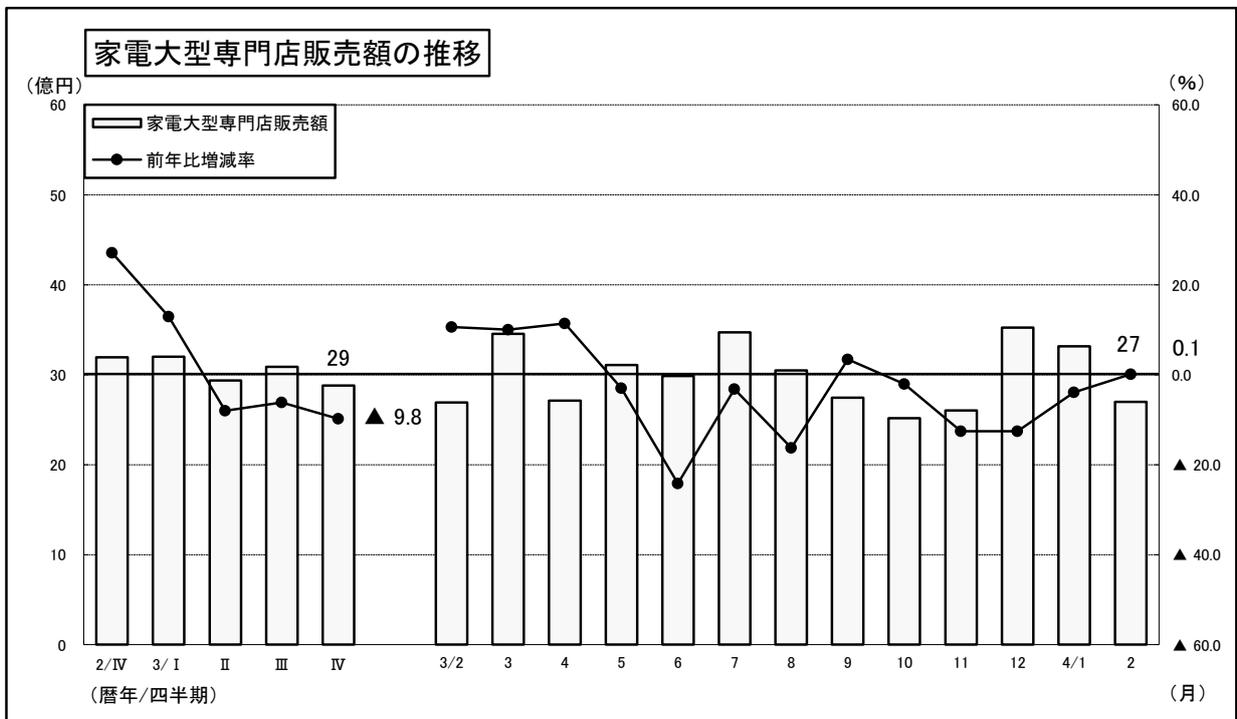
資料 1



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：経済産業省)

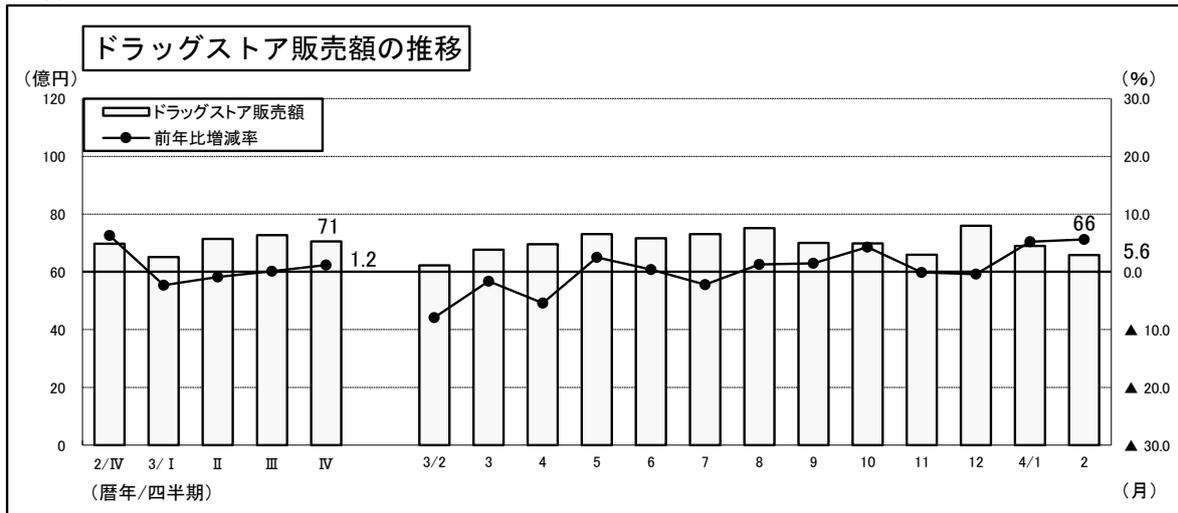
資料 2



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：経済産業省)

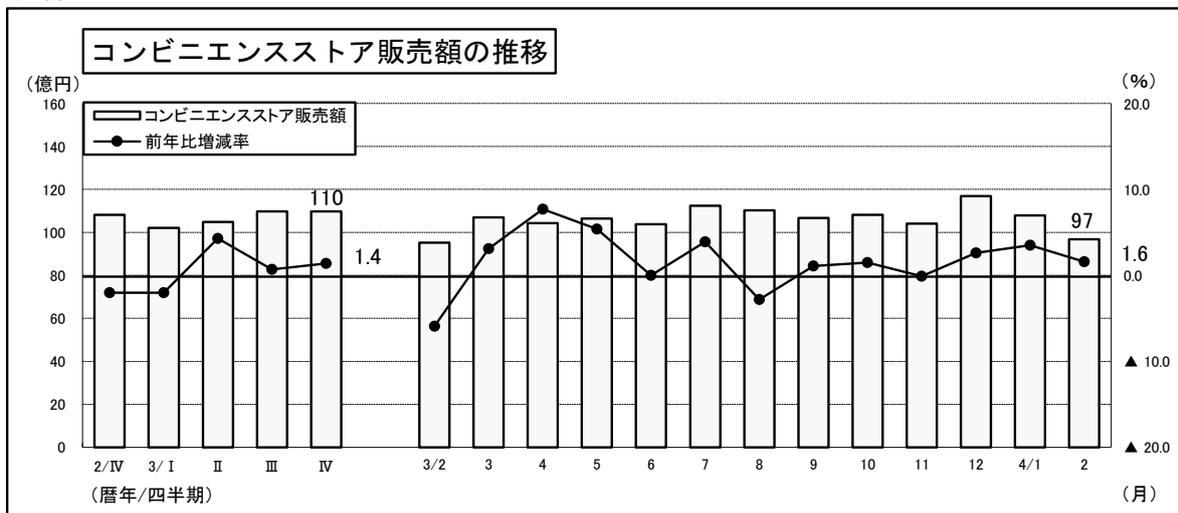
資料3



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：経済産業省)

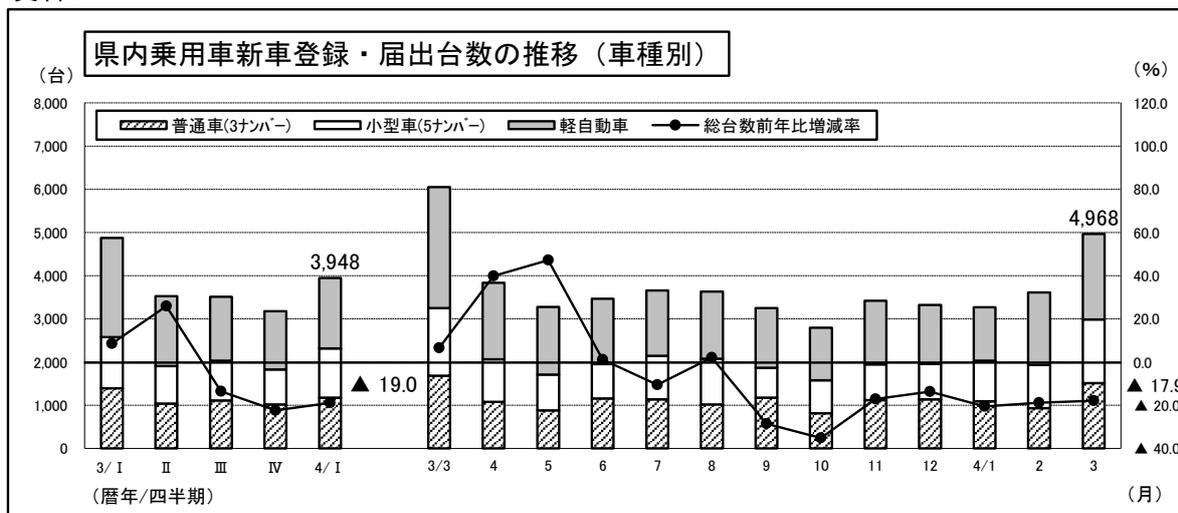
資料4



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：経済産業省)

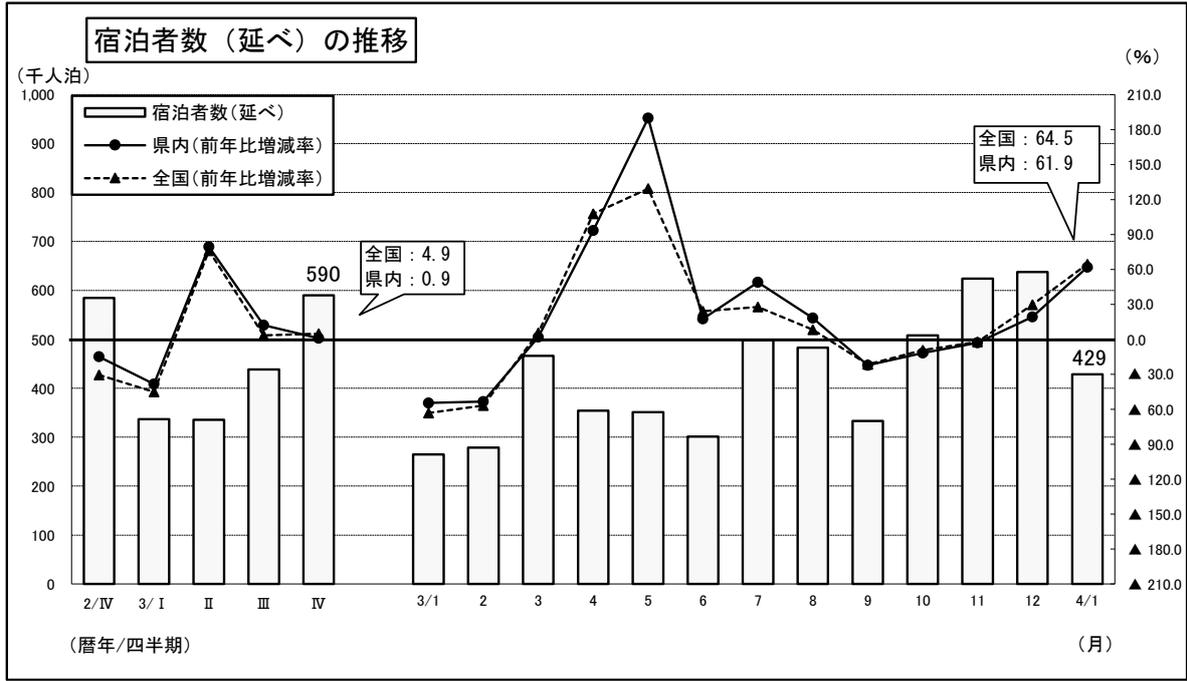
資料5



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：国土交通省、全国軽自動車協会連合会)

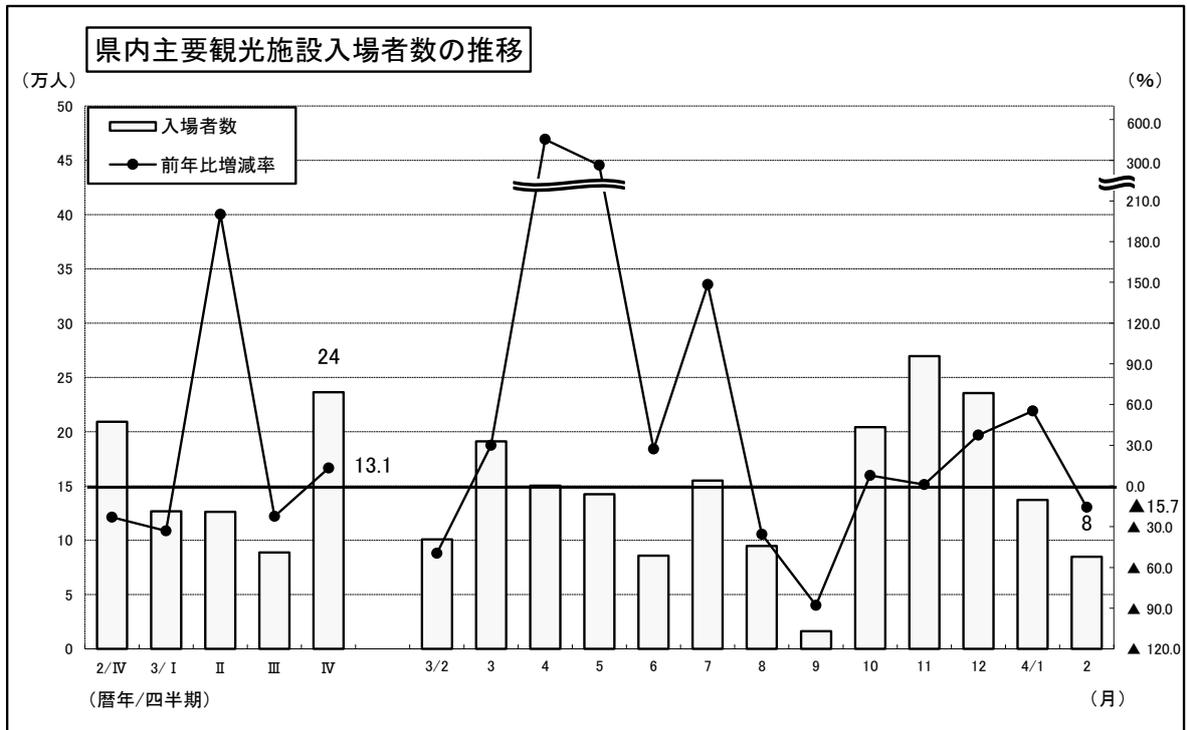
資料 6



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：観光庁)

資料 7

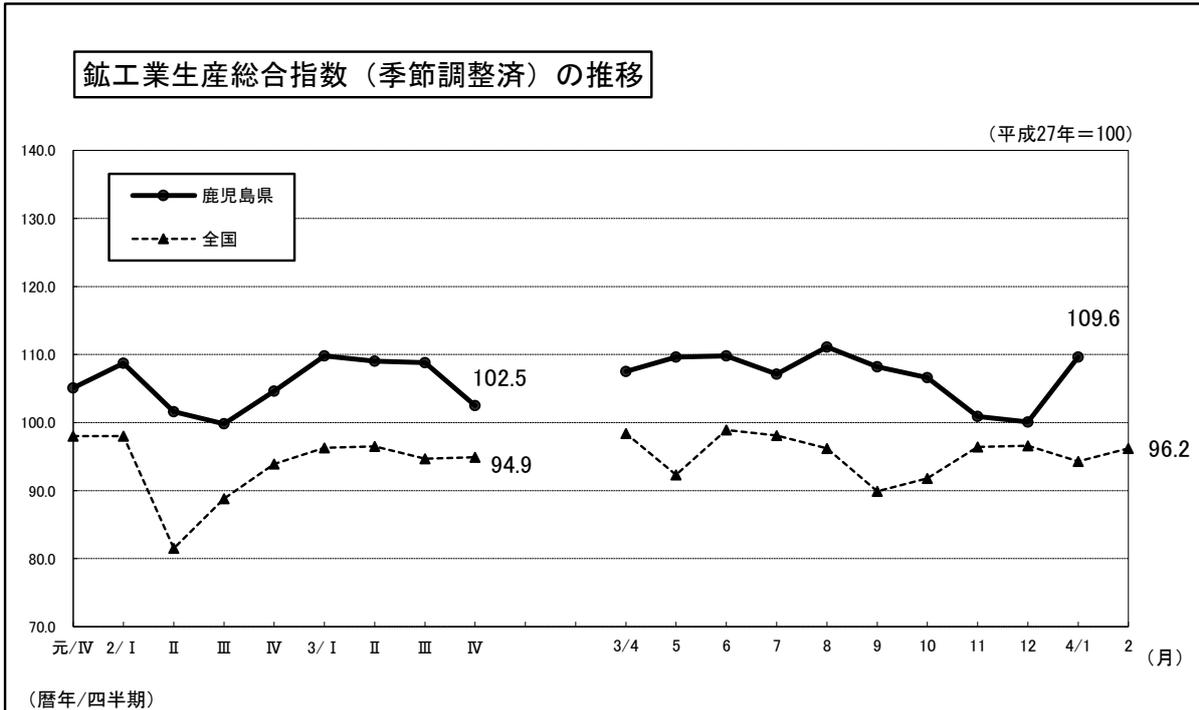


注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：県内主要16観光施設)

2. 生産活動

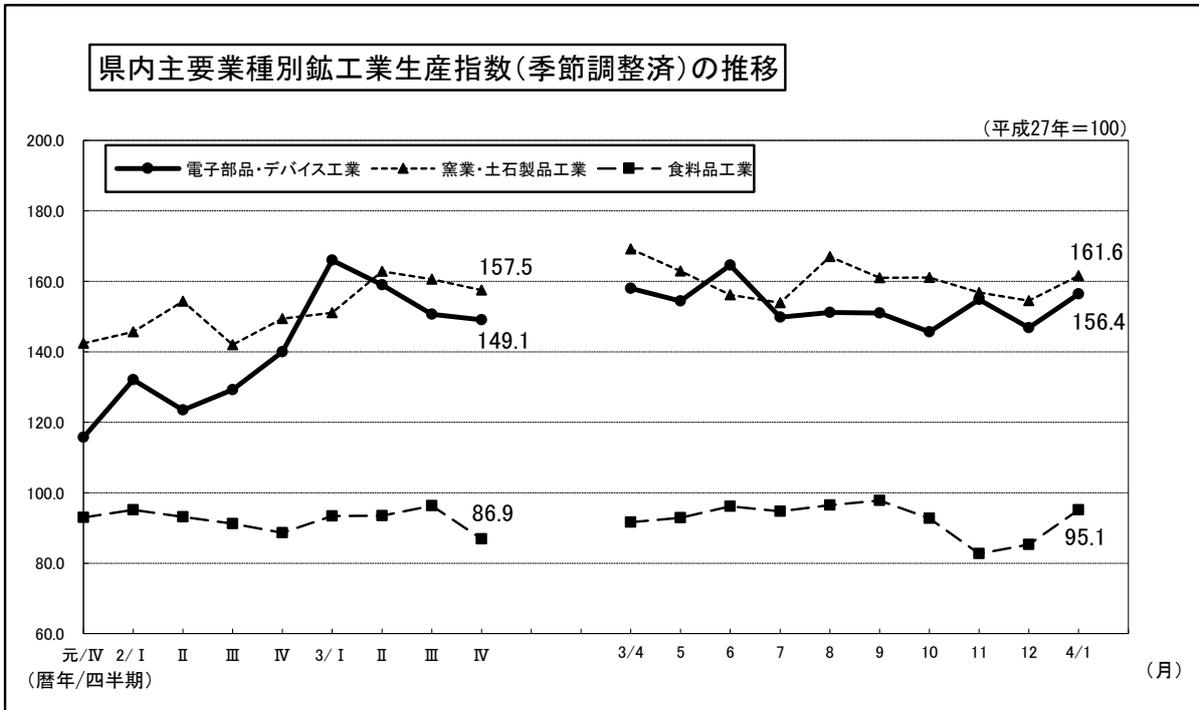
資料 8



注：鹿児島県の4年1月は速報値。

(資料：経済産業省、鹿児島県)

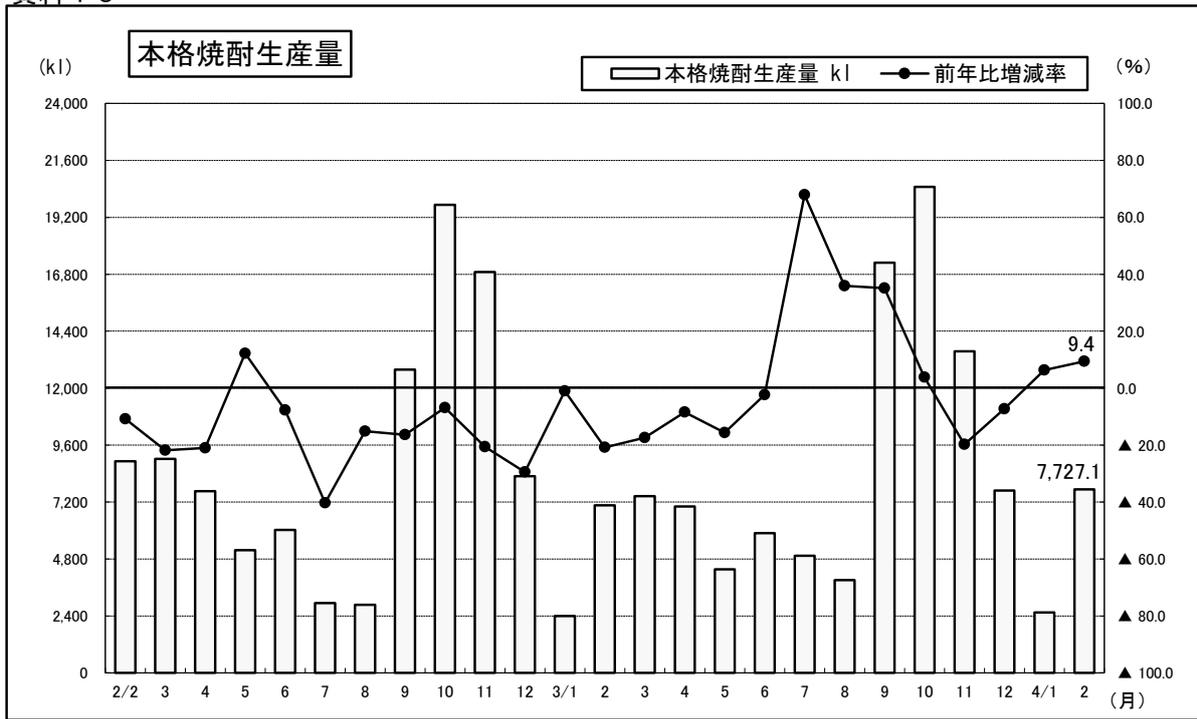
資料 9



注：4年1月は速報値。

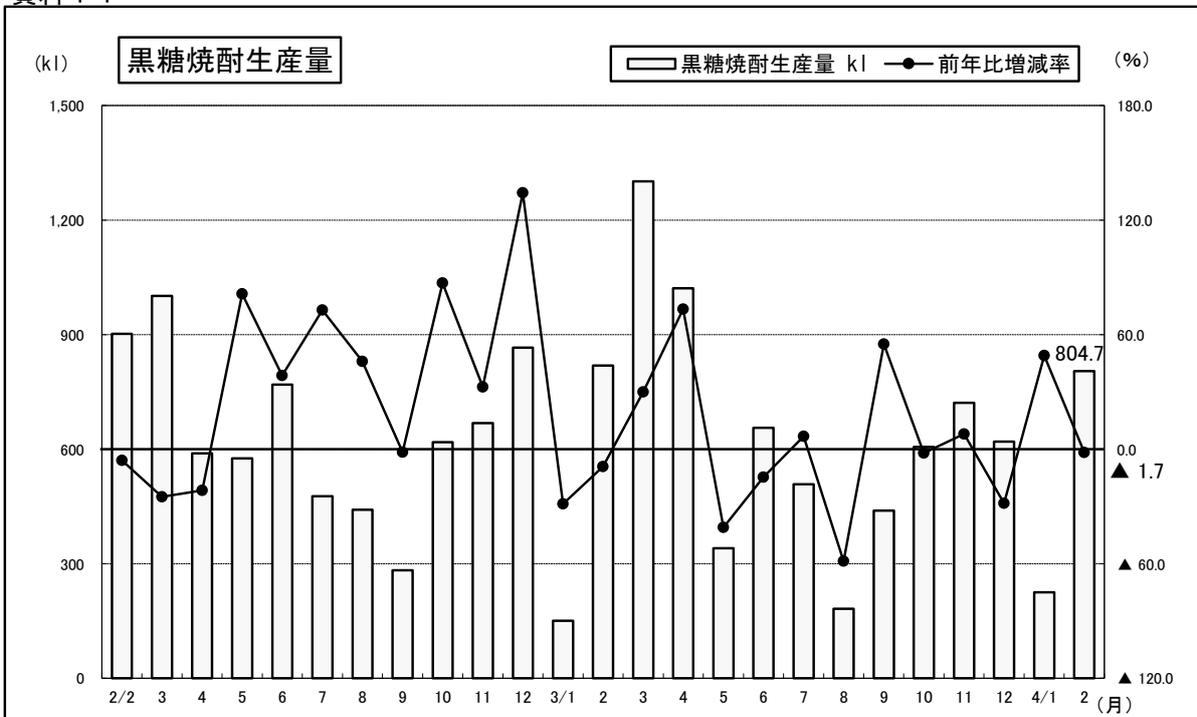
(資料：鹿児島県)

資料 1 0



(資料：鹿児島県酒造組合)

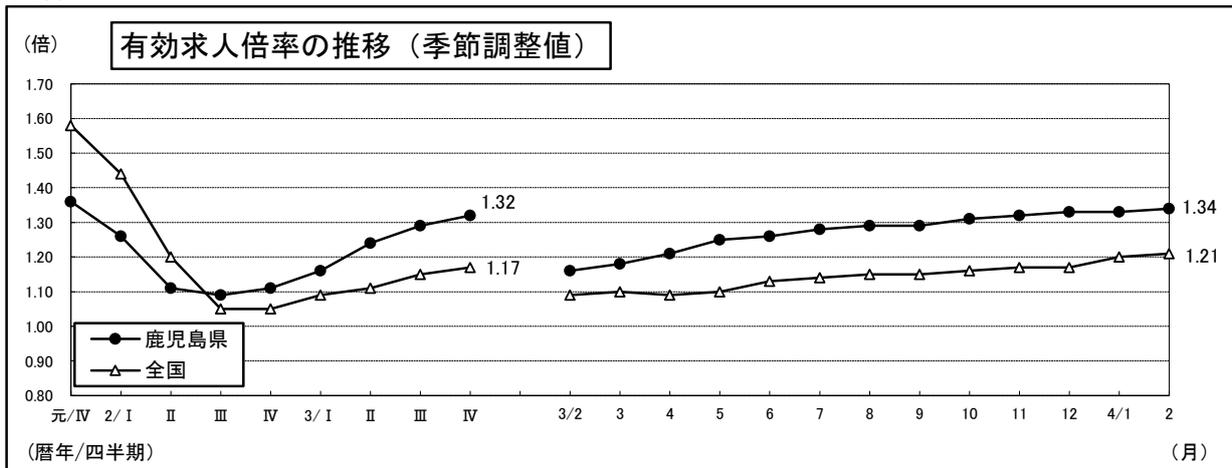
資料 1 1



(資料：鹿児島県酒造組合)

3. 雇用情勢

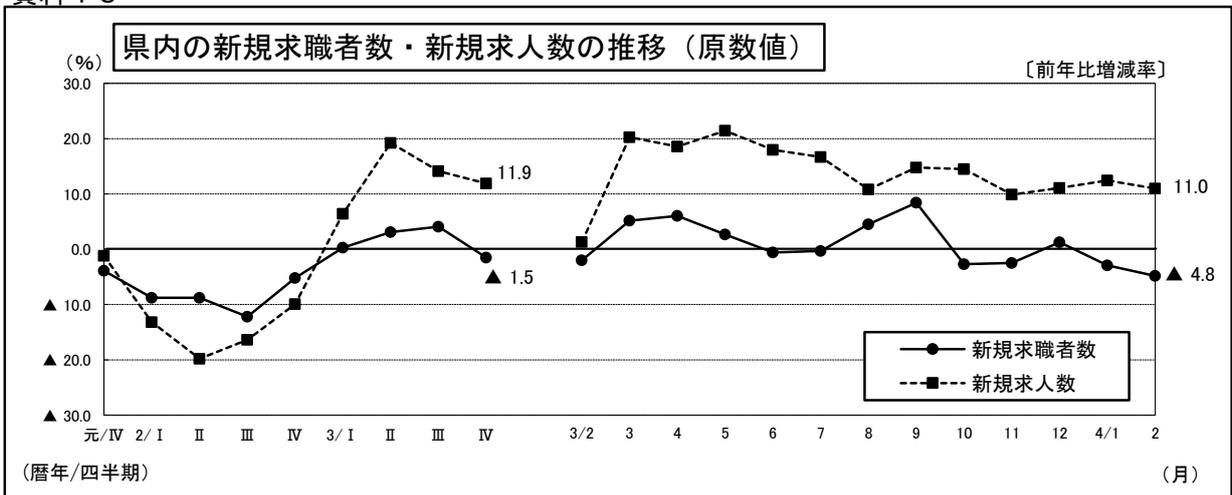
資料 1 2



注：パートを含む。

（資料：厚生労働省）

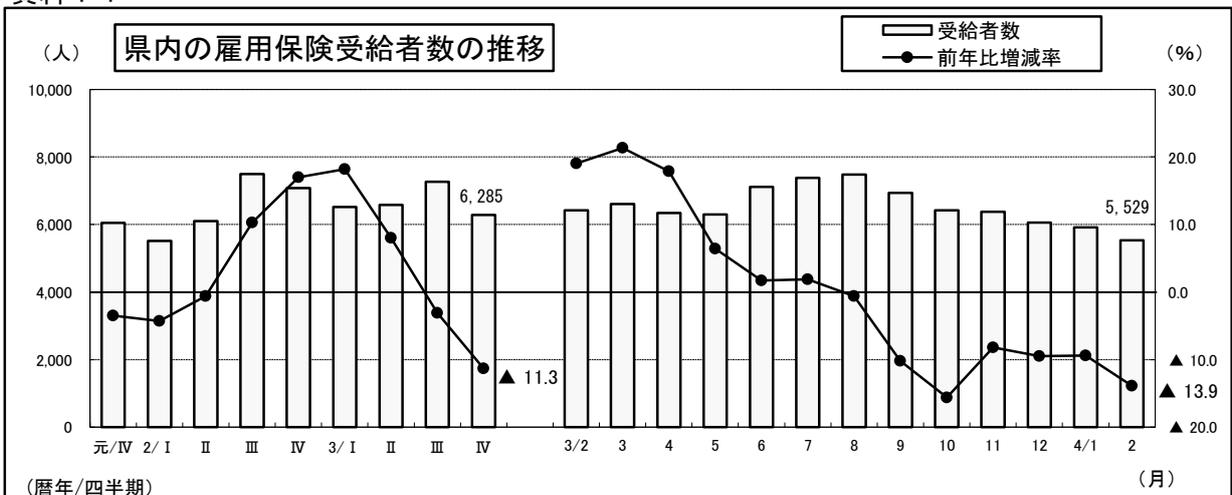
資料 1 3



注：パートを含む。

（資料：厚生労働省）

資料 1 4

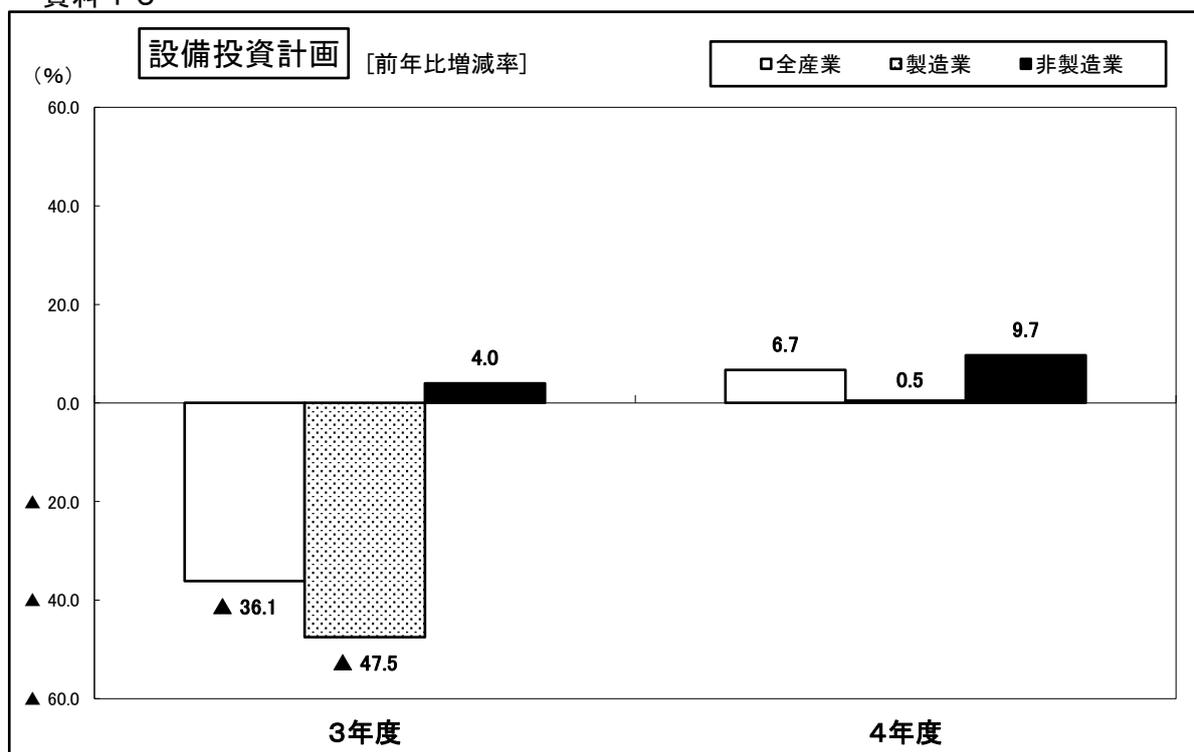


注：四半期の棒グラフは月平均。パートを含む。

（資料：厚生労働省）

4. 設備投資

資料 1 5



設備投資[前年比増減率]

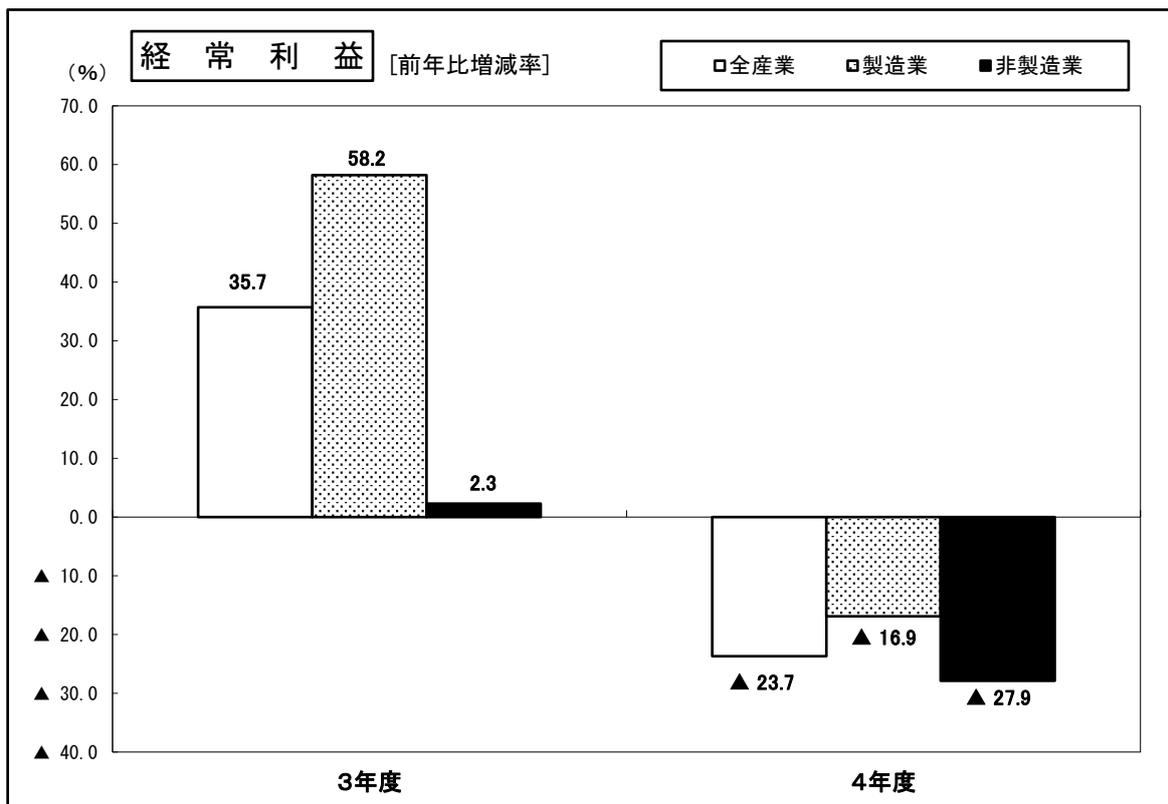
(単位：社、%)

	回答 企業数	3年度	回答 企業数	4年度
全産業	92	▲ 36.1	85	6.7
製造業	20	▲ 47.5	18	0.5
非製造業	72	4.0	67	9.7
大企業	18	▲ 41.6	17	12.8
中堅企業	21	36.1	20	▲ 15.7
中小企業	53	3.1	48	3.9

(資料：鹿児島財務事務所(法人企業景気予測調査))

5. 企業収益

資料 1 6



経常利益 [前年比増減率]

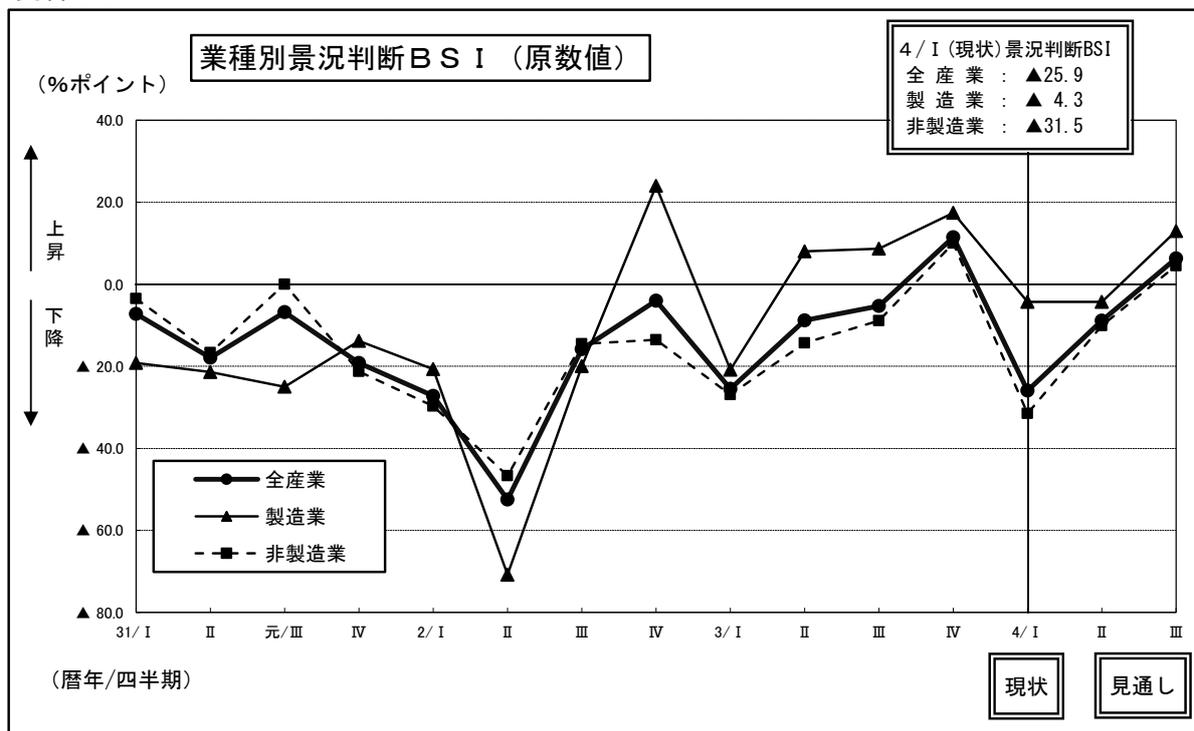
(単位：社、%)

	回答 企業数	3年度	回答 企業数	4年度
全産業	80	35.7	74	▲ 23.7
製造業	19	58.2	18	▲ 16.9
非製造業	61	2.3	56	▲ 27.9
大企業	11	39.7	10	▲ 28.3
中堅企業	18	27.7	17	▲ 41.0
中小企業	51	5.0	47	27.1

(資料：鹿児島財務事務所 (法人企業景気予測調査))

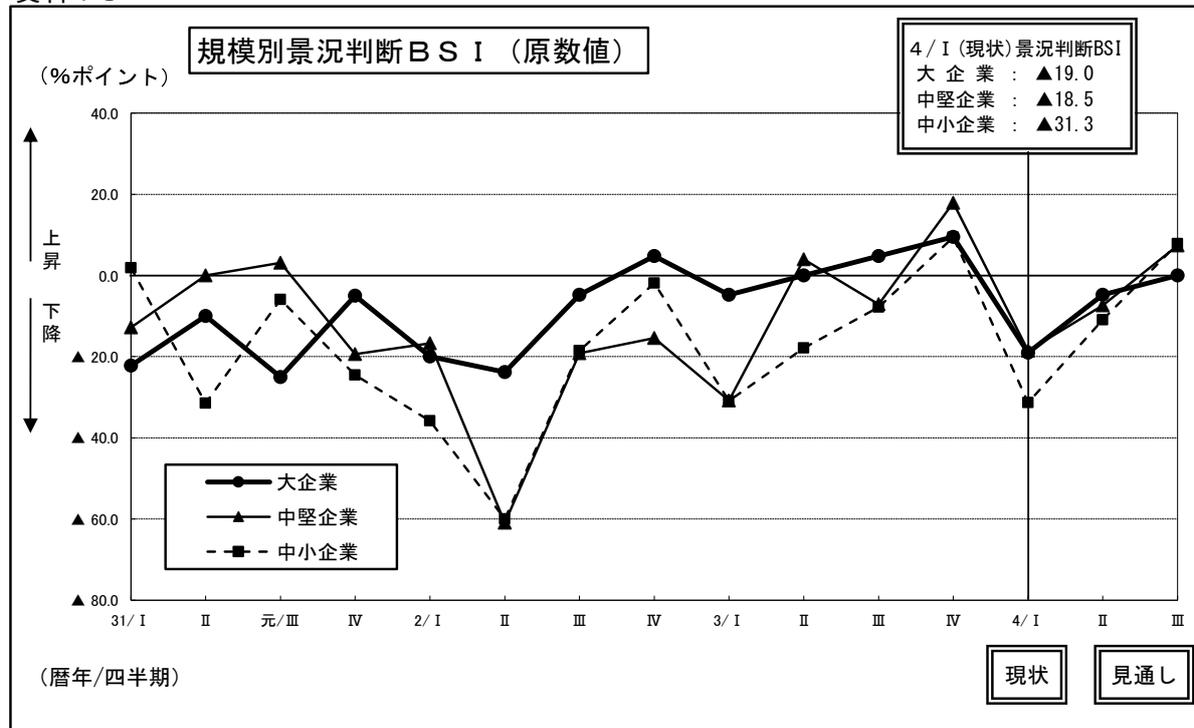
6. 企業の景況感

資料 17



(資料 : 鹿児島財務事務所 (法人企業景気予測調査))

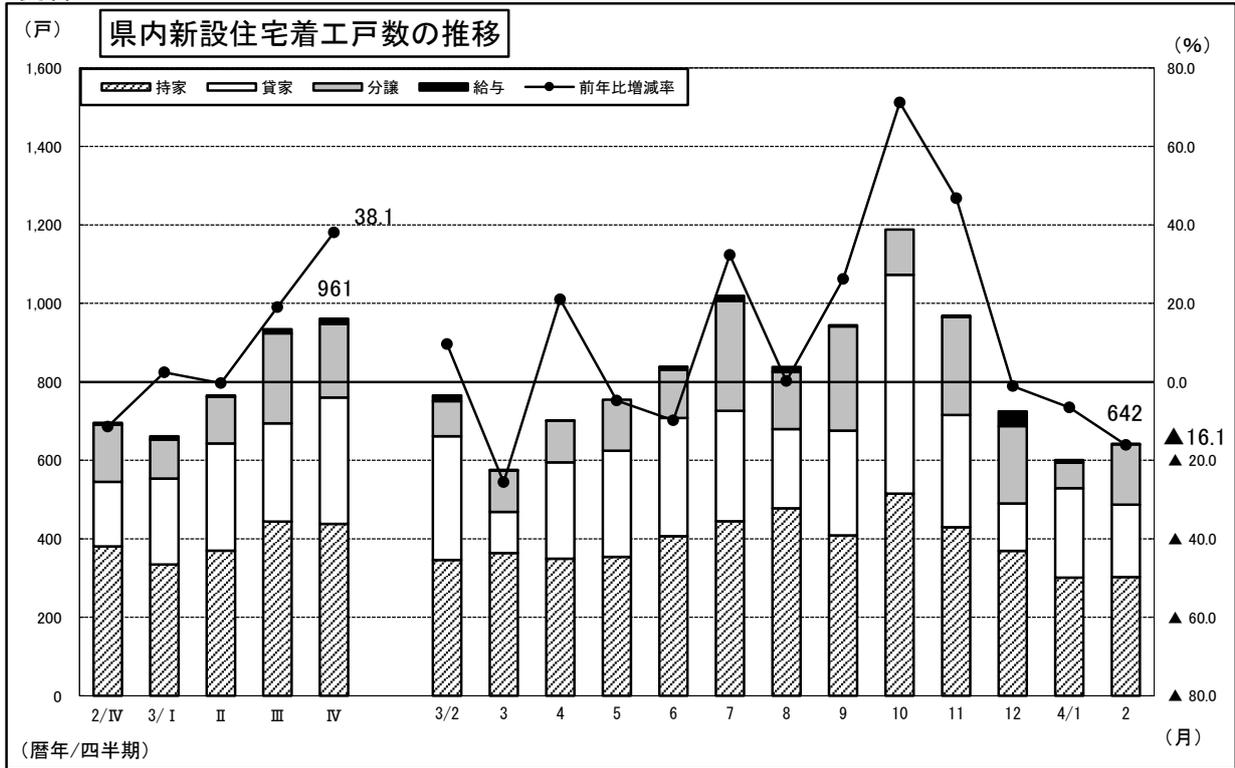
資料 18



(資料 : 鹿児島財務事務所 (法人企業景気予測調査))

7. 住宅建設

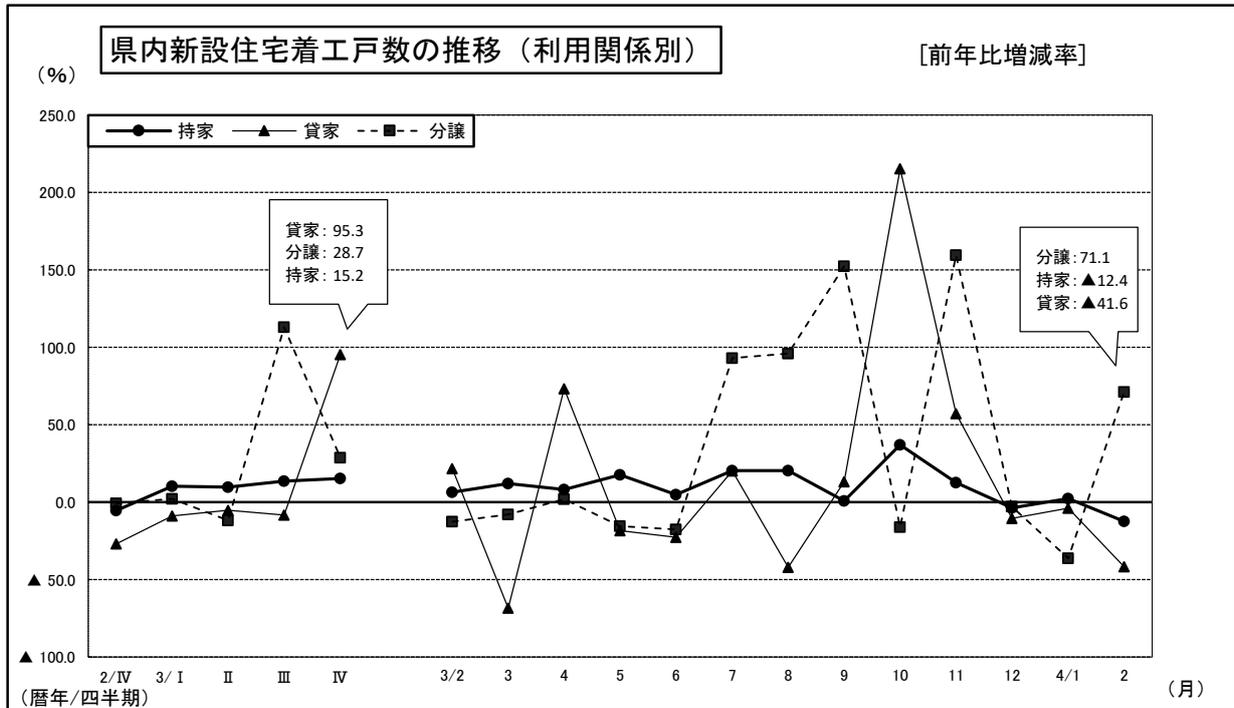
資料 19



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：国土交通省)

資料 20

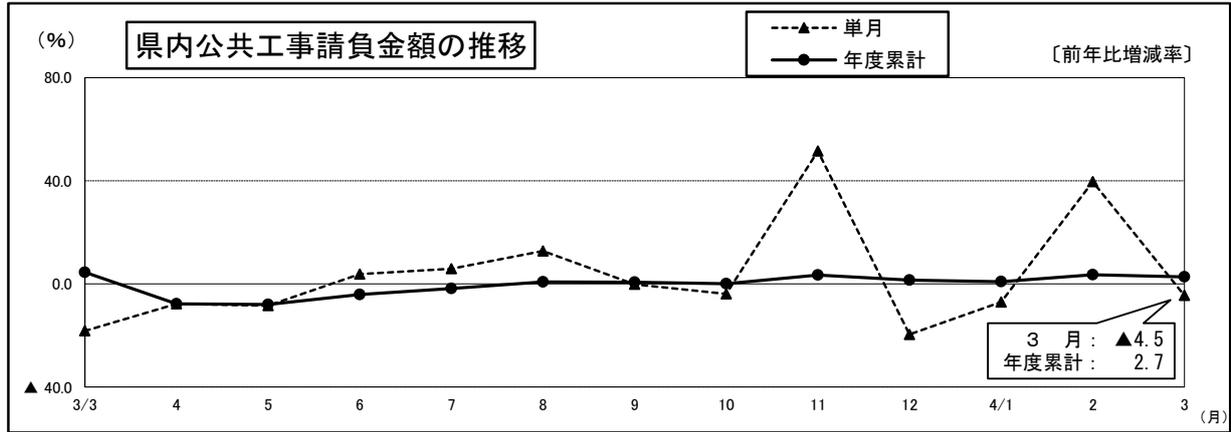


注：給与住宅については、些少であるため表記していない。

(資料：国土交通省)

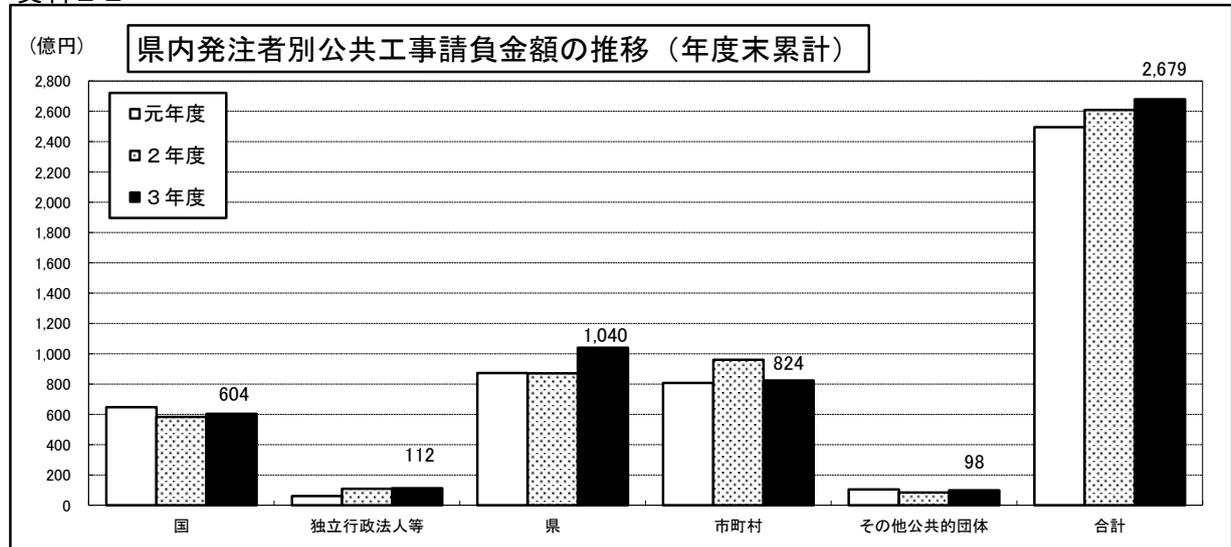
8. 公共事業

資料 2 1



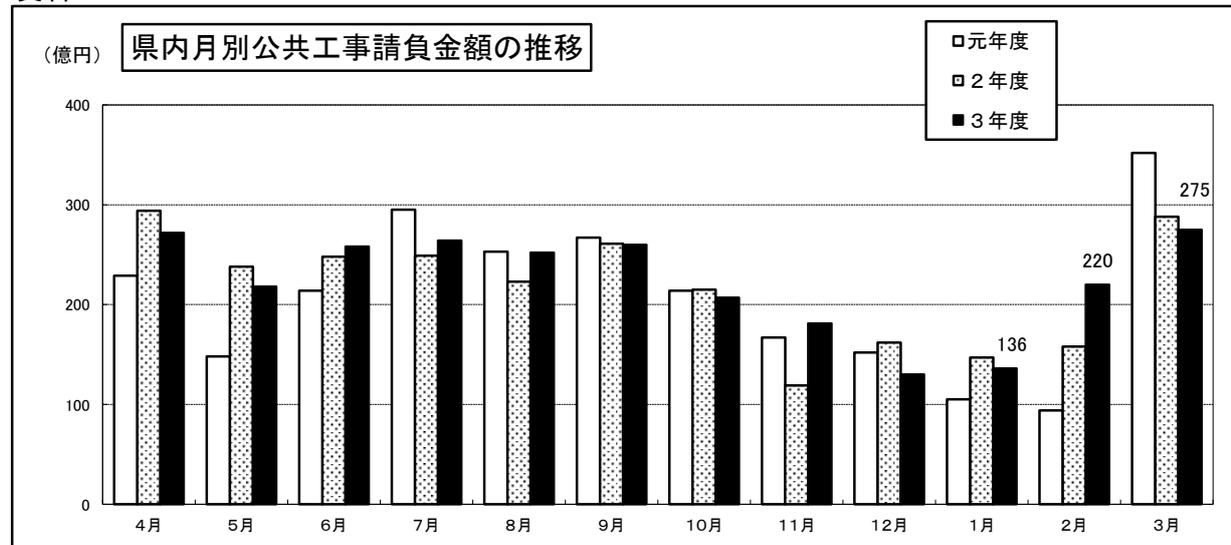
(資料：北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)

資料 2 2



(資料：北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)

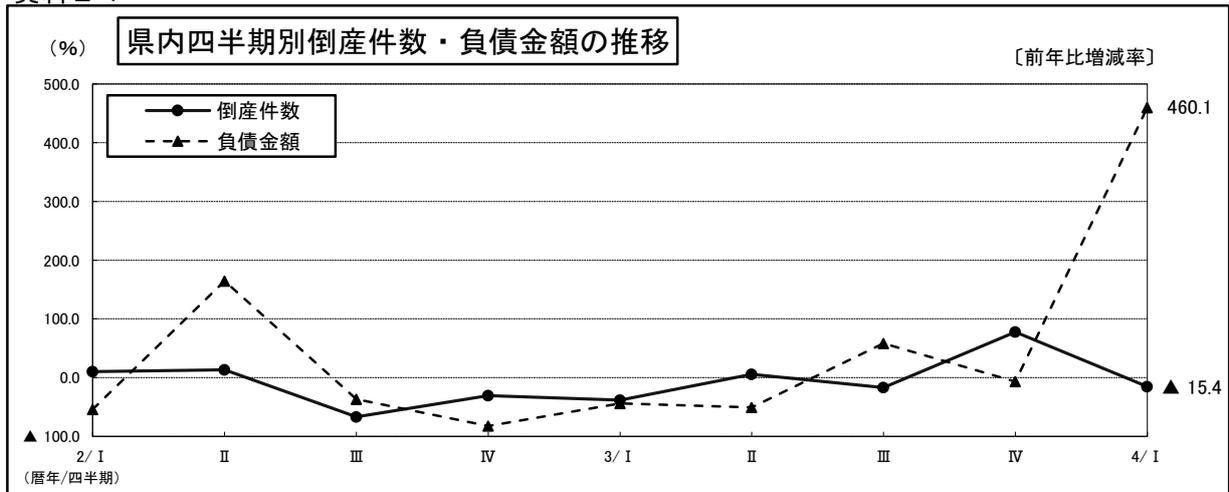
資料 2 3



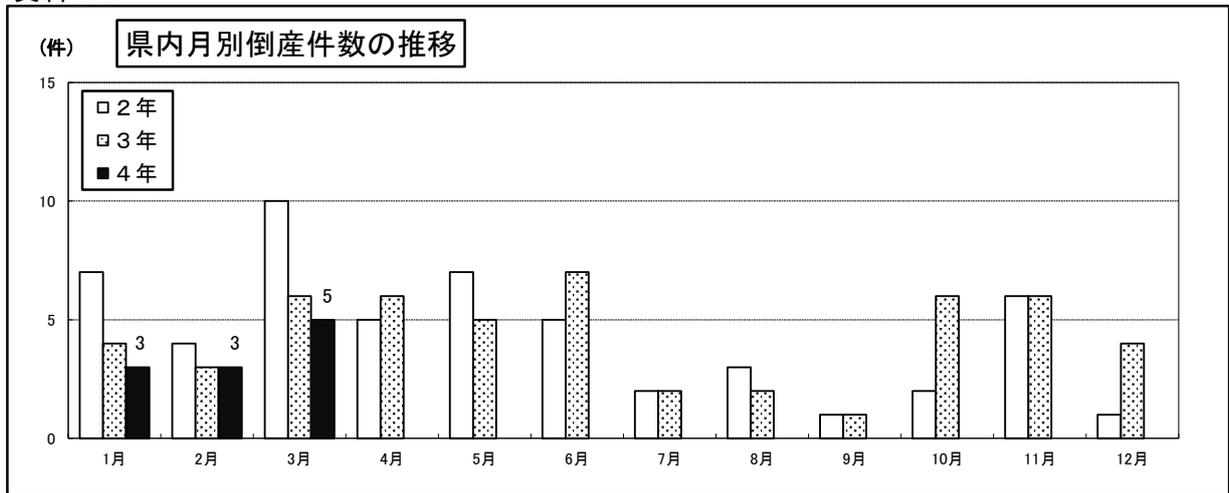
(資料：北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)

9. 倒産

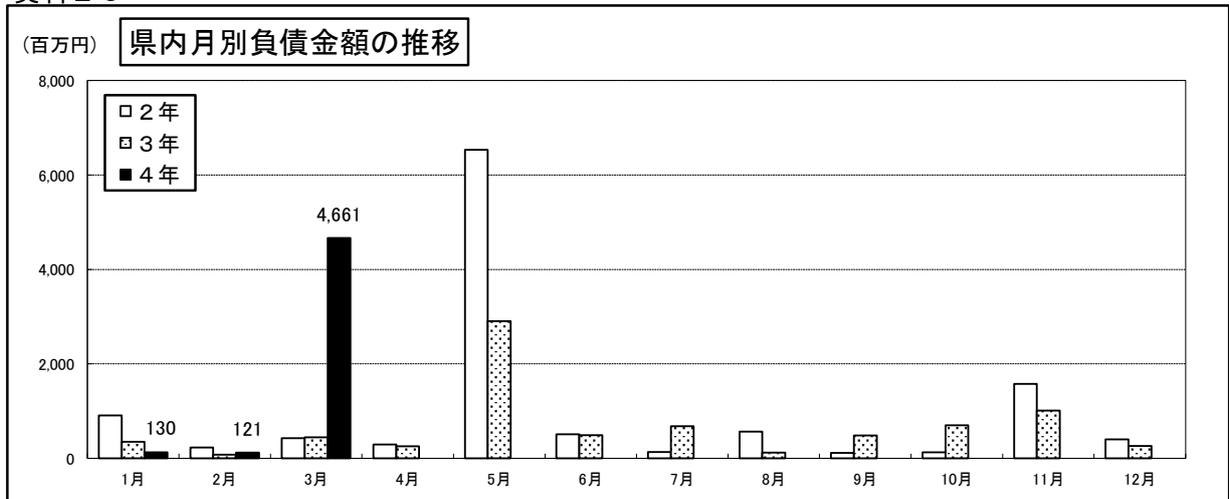
資料 2 4



資料 2 5

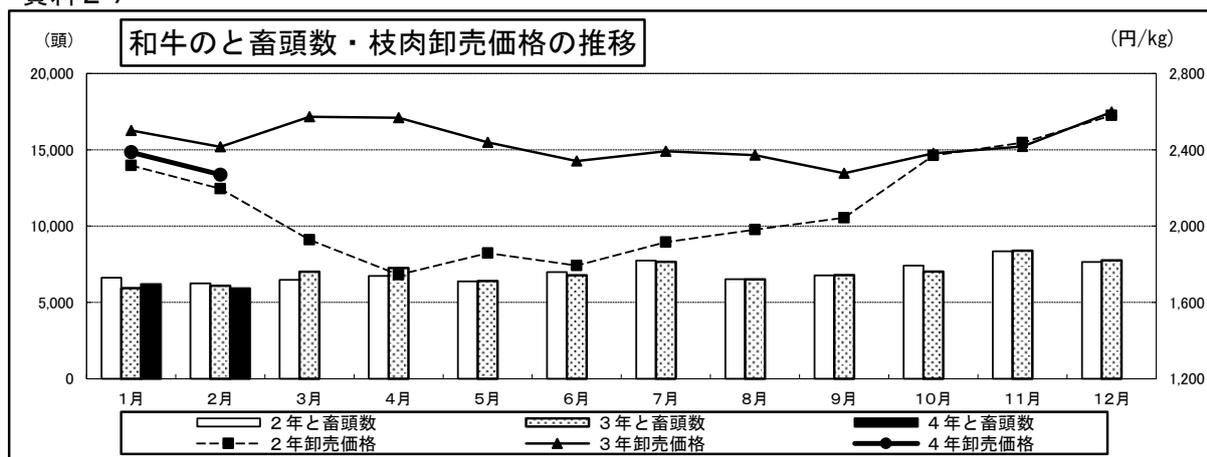


資料 2 6



10. 農業（畜産物）

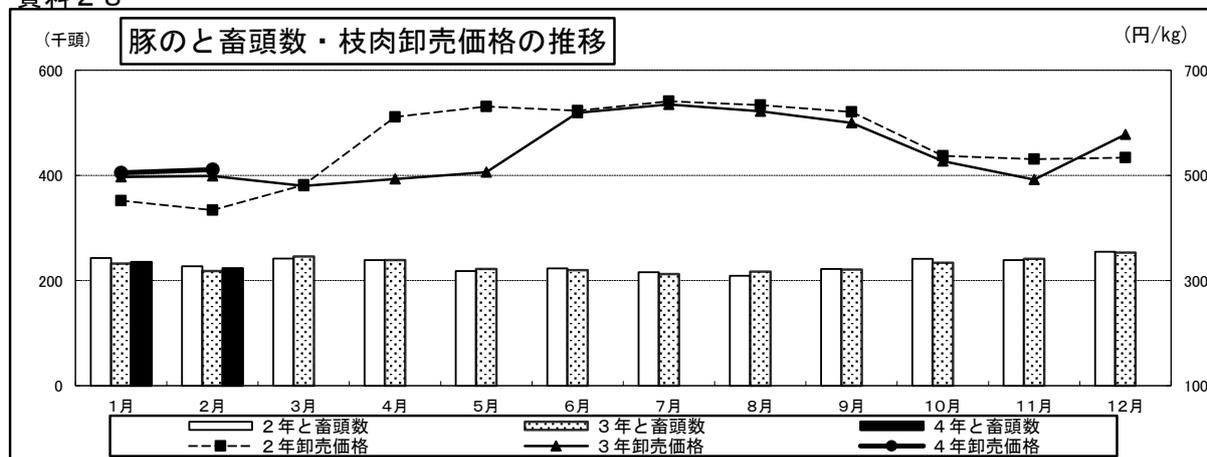
資料 27



注：枝肉卸売価格は、大阪市場去勢和牛A4の加重平均価格。
3年、4年のと畜頭数は速報値。

(資料：農林水産省)

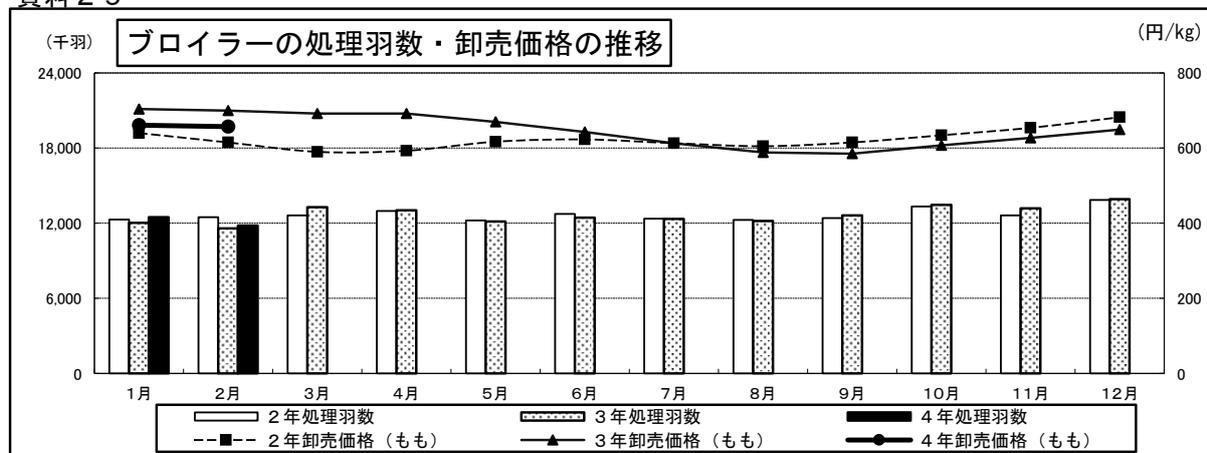
資料 28



注：枝肉卸売価格は、東京市場「上物」の加重平均価格。
3年、4年のと畜頭数は速報値。

(資料：農林水産省)

資料 29



注：卸売価格は東京中値の価格。

(資料：鹿児島県、独立行政法人農畜産業振興機構)